

わけではありません。他人への HIV 感染を予防するために、適切な避妊具を使用しなければいけません。

妊娠

妊娠している場合、妊娠を予定している場合、あるいは授乳している場合には、お薬の服用を始める前にあなたの主治医にそのことを相談してください。エピビルは、妊娠初期の 3 カ月間は服用してはいけません。

授乳

ラミブジンやウイルスが乳汁中へ移行するため、エピビル服用中は乳児に授乳しないことが勧められています。HIV 感染症の女性では、HIV を感染させることを防ぐために、いかなる条件下であっても乳児に母乳を与えないことが勧められています。

他の薬を飲む場合

あなたが自分で購入したお薬も含めて、あなたが飲んでいるお薬すべてを主治医に報告することは大変重要です。これらのお薬がエピビルの作用に影響を及ぼすかもしれませんし、逆にエピビルがこれらのお薬の作用に影響を及ぼす可能性もあります。エピビルは、ザルシタビン、高用量のコトリモキサゾール、ガンシクロビルもしくはホスカルネットの注射薬と一緒に服用すべきではありません。

3. エピビルの飲み方

主治医に指示された通りにエピビルを服用してください。もし分からないことがあったら、医師もしくは薬剤師に確認してください。

成人および 12 歳以上の青少年へのエピビルの通常用量は、1 日 300mg です。これは、1 回 150mg 錠を 1 錠で、1 日 2 回おおよそ 12 時間毎に服用しても、300mg (150mg 錠を 2 錠、300mg 錠を 1 錠) を 1 日 1 回でも構いません。エピビル錠を噛み砕くことなく、水か他の飲み物で飲みこんでください。服用にあたっては、食後、空腹時のどちらでも構いません。

3 カ月を超えた小児、錠剤の服用が困難な患者さん、より低用量での服用が必要な患者さんについては、内服液(国内未発売)を使用することもできます。

もし腎機能に障害がある場合には、用量を調節しなければなりません。主治医の指示に従ってください。

指示された用量以上のエピビルを飲んでしまった場合

もし誤ってエピビルを飲みすぎてしまっても、深刻な問題が発生する可能性は低いのですが、主治医もしくは薬剤師、もしくは最寄の病院の救急外来へ相談してください。

エピビルを飲み忘れてしまった場合

もしエピビルを飲み忘れてしまった場合には、気付いた時点ですぐに服用し、その後は通常通りに服薬してください。飲み忘れたからといって、一度に 2 回分のお薬を飲んではいけません。

4. 想定される副作用

すべてのお薬がそうであるように、エピビルも副作用が起こる可能性があります。HIV 感染症を治療していると

きには、往々にして、望まざる影響がエピビルによって起こったものか、もしくは一緒に服用している他の薬剤によるものなのか、もしくは HIV 感染症自体によるものなのか、判別することが不可能です。このことから、あなたの病状のいかなる変化でも主治医に報告することがとても重要となります。

もっとも一般的に報告されている(100 人にひとり以上)副作用は、吐き気、嘔吐、胃痛、下痢、頭痛、関節痛、筋肉障害、咳、鼻症状(炎症、鼻水)、発熱、疲労感、気分不快、発疹、脱毛、睡眠障害などです。

あまり一般的でない(1000 人から 100 人にひとり)副作用は、貧血(赤血球数の低値)、好中球減少(白血球数の低値)、血小板減少(血液凝固に重要である血液細胞)があります。赤血球の産生が減少すると、疲労感や息切れのような症状があらわれます。白血球数が減少すると感染症に罹りやすくなります。もし血小板数が低い場合には、あざがでやすくなります。エピビル服用中の患者さんの血液サンプルでは、いくつかの肝酵素が増加する場合もあります。

稀な(10,000 人から 1,000 人にひとり)副作用として、肝の炎症(肝炎)、脾の炎症(脾炎)、筋組織の衰弱があります。

非常に稀な(10,000 にひとりよりも少ない)副作用として、四肢痛や四肢の感覚低下、重篤な貧血や好中球減少があります。

体内で乳酸を過剰生成される乳酸アシドーシスの場合には、核酸系逆転写酵素阻害剤服用中の患者さんにおいて、非常にまれな状況で脱水や昏睡の原因となりうる事が報告されています。(「使用にあたっての警告と注意」の項を参照)

抗レトロウイルス剤の併用療法を行っている患者さんでは、体脂肪分布の変化により体型が変化することがあります。足や腕、顔の脂肪の減少、腹部や内臓における脂肪の増加、乳房肥大、頸背部の脂肪塊(野牛肩)などがみられます。現時点において、これらが長期間にわたる健康に影響を及ぼすのかどうか、分かっていません。

抗レトロウイルス剤の併用療法は、高乳酸血症や高血糖、高脂血症(血中の脂肪増加)、インスリン抵抗性の原因になることもあります。

エピビル服用中に起こった副作用についてはすべて、たとえこのリーフレットに記載がなくても、常に医師や薬剤師に報告してください。

5. エピビルの保管

30°Cを超えた場所に保存しないでください。

包装上面に記載してある使用期限後には使用しないでください。

子供の手の届かないところ、目の届かないところに保管してください。

6. その他

このお薬に関する情報については、それぞれの国の販売元にお尋ねください。

Package Leaflet

エピビル 300mg フィルムコート錠

このお薬の服用を開始する前に、このリーフレットの内容をよく読んでください。

- ◆ このリーフレットは保管しておきましょう。必要に応じて、読み返してください。
- ◆ さらに質問があるときには、医師もしくは薬剤師に相談してください。
- ◆ このお薬は、あなたに処方されたものです。他の人に渡さないようにしてください。病気の症状が仮にあなたと同じだとしても、お薬が彼らに害を及ぼす可能性もあります。

このリーフレットでは、以下の内容を説明しています。

- ◆ エピビルとは何か、どのような病気に使われるのか
- ◆ エピビルを服薬する前に
- ◆ エピビルの飲み方
- ◆ 想定される副作用
- ◆ エピビルの保管方法
- ◆ その他の情報

エピビル 300mg フィルムコート錠
ラミブジン

エピビルの活性成分は、ラミブジンです。エピビル フィルムコート錠 1錠あたり、300mg のラミブジンが含有されています。この錠剤は、以下の成分も含有しています。

錠本体：結晶セルロース、カルボキシメチルスターチナトリウム、ステアリン酸マグネシウム

フィルムコート：ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2910、酸化チタン、マクロゴール 400、ポリソルベート 80、黒酸化鉄

製造者

Glaxo Weecome Operations
Priory Street
Ware
Herts SG12 ODJ
United Kingdom

販売元

Glaxo Group Ltd
Green ford Road
Green ford
Middlesex UB6 ONN
United Kingdom

1. エピビルとは何か、どのような病気に使われるのか

エピビル 300mg フィルムコート錠は、30 錠入りのボトルで供給されています。色は灰色で、ダイヤモンド形のフィルムコート錠であり、片側に GX EJ7 と刻印が入っています。

エピビルは、抗ウイルス剤として分類されており、核酸系逆転写酵素阻害剤と呼ばれる抗レトロウイルス薬として知られています。これらは、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症を治療するために用いられています。

エピビルは、成人や小児の HIV 感染症治療における併用抗レトロウイルス療法薬として用いられます。エピビルは、あなたの体内の HIV を減らし、ウイルス量を低いレベルに保ちます。また、CD4 細胞数も増やします。CD4 細胞とは、白血球の一種で、感染症に対抗するために必要な健康な免疫システムを維持するのに重要な役割を持っています。エピビルでの治療効果は、患者さんによっても差があります。あなたの主治医が、治療効果についてモニターしてくれるでしょう。

2. エピビルを飲む前に

以下のような人は、エピビルを飲んではいけません

- ◆ ラミブジンあるいはエピビル錠の成分に過敏症(アレルギー)のある場合

もし分からなかったら、あなたの主治医に相談してください。

使用にあたっての警告と注意

- ◆ もしあなたに腎機能障害がある場合には、エピビルの使用について主治医と相談してください。一般的には、エピビルを減量して服用することが推奨されています。
- ◆ エピビルが分類される核酸系逆転写酵素阻害剤は、肝肥大とともに乳酸アシドーシスと呼ばれる状態の原因となることがあります。乳酸アシドーシスは、(起こるとすると)、治療開始の数ヵ月後に発現するのが普通です。深く速い呼吸、傾眠状態、そして吐き気、嘔吐や胃痛のような非特異的な症状は乳酸アシドーシス発現の兆候かもしれません。この稀な、しかし重篤な副作用は女性、特に肥満の方により起こりやすい傾向があります。もし肝疾患がある場合には、この状態に陥るリスクがより高くなります。エピビルで治療を受けている間は、あなたの主治医はあなたが乳酸アシドーシスを発現する兆候がないかどうか念入りにモニターするでしょう。
- ◆ 抗レトロウイルス剤の併用療法を受けている患者さんでは、体脂肪の再分配、集積、減少が起こる可能性があります。体脂肪の変化に気付いたら、主治医に相談してください。
- ◆ もしあなたがB型慢性肝炎の場合には、肝炎を再発するかもしれないので、医師の指示なく勝手に治療を中止してはいけません。あなたが重症の肝疾患を持っている場合には、この再発はより重篤になる可能性があります。
- ◆ エピビルは毎日服薬する必要があります。このお薬は、あなたの症状をコントロールし病気の進行を遅らせる助けとなりますが、HIV 感染症を完治させることはできません。他の感染症や HIV 感染症に関連した他の疾患を発症しつづける可能性もあります。あなたの主治医とは、緊密に連絡をとり、相談なくお薬の服用を中止してはいけません。
- ◆ エピビルで治療をしても、性行為や血液を介して他の人に HIV 感染症をうつしてしまうリスクが減る

わけではありません。他人への HIV 感染を予防するために、適切な避妊具を使用しなければいけません。

妊娠

妊娠している場合、妊娠を予定している場合、あるいは授乳している場合には、お薬の服用を始める前にあなたの主治医にそのことを相談してください。エピビルは、妊娠初期の 3 ヶ月間は服用してはいけません。

授乳

ラミブジンやウイルスが乳汁中へ移行するため、エピビル服用中は乳児に授乳しないことが勧められています。HIV 感染症の女性では、HIV を感染させることを防ぐために、いかなる条件下であっても乳児に母乳を与えないことが勧められています。

他の薬を飲む場合

あなたが自分で購入したお薬も含めて、あなたが飲んでいるお薬すべてを主治医に報告することは大変重要です。これらのお薬がエピビルの作用に影響を及ぼすかもしれませんし、逆にエピビルがこれらのお薬の作用に影響を及ぼす可能性もあります。エピビルは、ザルシタビン、高用量のコトリモキサゾール、ガンシクロビルもしくはホスカルネットの注射薬と一緒に服用すべきではありません。

3. エピビルの飲み方

主治医に指示された通りにエピビルを服用してください。もし分からないことがあったら、医師もしくは薬剤師に確認してください。

成人および 12 歳以上の青少年へのエピビルの通常用量は、1 日 300mg です。これは、1 回 150mg 錠を 1 錠で、1 日 2 回おおよそ 12 時間毎に服用しても、300mg (150mg 錠を 2 錠、300mg 錠を 1 錠) を 1 日 1 回でも構いません。エピビル錠を噛み砕くことなく、水か他の飲み物で飲みこんでください。服用にあたっては、食後、空腹時のどちらでも構いません。

3 ヶ月を超えた小児、錠剤の服用が困難な患者さん、より低用量での服用が必要な患者さんについては、内服液(国内未発売)を使用することもできます。

もし腎機能に障害がある場合には、用量を調節しなければなりません。主治医の指示に従ってください。

指示された用量以上のエピビルを飲んでしまった場合

もし誤ってエピビルを飲みすぎてしまっても、深刻な問題が発生する可能性は低いのですが、主治医もしくは薬剤師、もしくは最寄の病院の救急外来へ相談してください。

エピビルを飲み忘れてしまった場合

もしエピビルを飲み忘れてしまった場合には、気付いた時点ですぐに服用し、その後は通常通りに服薬してください。飲み忘れたからといって、一度に 2 回分の薬を飲んではいけません。

4. 想定される副作用

すべての薬がそうであるように、エピビルも副作用が起こる可能性があります。HIV 感染症を治療しているときには、往々にして、望まざる影響がエピビルによって起こったものか、もしくは一緒に服用している他の薬剤によるものなのか、もしくは HIV 感染症自体によるものなのか、判別することが不可能です。このことから、あなたの病状のいかなる変化でも主治医に報告することがとても重要となります。

もっとも一般的に報告されている(100 人にひとり以上)副作用は、吐き気、嘔吐、胃痛、下痢、頭痛、関節痛、筋肉障害、咳、鼻症状(炎症、鼻水)、発熱、疲労感、気分不快、発疹、脱毛、睡眠障害などです。

あまり一般的でない(1000 人から 100 人にひとり)副作用は、貧血(赤血球数の低値)、好中球減少(白血球数の低値)、血小板減少(血液凝固に重要である血液細胞)があります。赤血球の産生が減少すると、疲労感や息切れのような症状があらわれます。白血球数が減少すると感染症に罹りやすくなります。もし血小板数が低い場合には、あざがでやすくなります。エピビル服用中の患者さんの血液サンプルでは、いくつかの肝酵素が増加する場合もあります。

稀な(10,000 人から 1,000 人にひとり)副作用として、肝の炎症(肝炎)、脾の炎症(脾炎)、筋組織の衰弱があります。

非常に稀な(10,000 にひとりよりも少ない)副作用として、四肢痛や四肢の感覚低下、重篤な貧血や好中球減少があります。

体内で乳酸が過剰生成される乳酸アシドーシスの場合には、核酸系逆転写酵素阻害剤服用中の患者さんにおいて、非常にまれな状況で脱水や昏睡の原因となりうることが報告されています。(「使用にあたっての警告と注意」の項を参照)

抗レトロウイルス剤の併用療法を行っている患者さんでは、体脂肪分布の変化により体型が変化することがあります。足や腕、顔の脂肪の減少、腹部や内臓における脂肪の増加、乳房肥大、頸背部の脂肪塊(野牛肩)などがみられます。現時点において、これらが長期間にわたる健康に影響を及ぼすのかどうか、分かっていません。

抗レトロウイルス剤の併用療法は、高乳酸血症や高血糖、高脂血症(血中の脂肪増加)、インスリン抵抗性の原因になることもあります。

エピビル服用中に起こった副作用についてはすべて、たとえこのリーフレットに記載がなくても、常に医師や薬剤師に報告してください。

5. エピビルの保管

30°Cを超えた場所には保存しないでください。

包装上面に記載してある使用期限後には使用しないでください。

子供の手の届かないところ、目の届かないところに保管してください。

6. その他

このお薬に関する情報については、それぞれの国の販売元にお尋ねください。

服薬ガイド

ザイアジェン(硫酸アバカビル)錠、内服液(国内未発売)

一般名:硫酸アバカビル錠、内服液(国内未発売)

150

服薬ガイドは、ザイアジェンを処方される度に読んでください。前回に処方されたときより、新しい情報が書かれている可能性があります。

ザイアジェンについて知るべき最も重要な情報は？

ザイアジェンを服用する患者さんのおおよそ 20 人にひとり(5%)の割合で、ただちに薬剤を中止しなければ死に至るような重篤なアレルギー反応(過敏反応)が起こる可能性があります。

以下のような症状がみられるときには、過敏症の可能性ががあります。

- (1) 皮膚に発疹が出ている
- (2) 次のグループのうち、少なくともふたつのグループに当てはまるものがひとつ、もしくはそれ以上ある場合
 - ◆ 発熱
 - ◆ 悪心、嘔吐、下痢、腹痛(胃周辺の)
 - ◆ 極度の疲労感、痛み、不調感
 - ◆ のどの痛み、頻呼吸、咳

もし過敏症の可能性があると思ったら、ザイアジェンの服用をやめ、ただちに主治医に連絡してください。

もし、この重篤な症状のためにザイアジェンの服用を中止したら、二度とザイアジェン(アバカビル)を飲まないでください。この重篤な副作用を発現したあとに、再びザイアジェンを服用した場合、数時間後に死に至る可能性もあります。

一度ザイアジェン(アバカビル)の服用を中止し、再びザイアジェンの服用を開始した患者さんで、重篤な、もしくは生命を脅かすアレルギー反応(過敏反応)を引き起こした症例があります。過敏反応以外の理由でザイアジェンを中止した場合でも、主治医に相談することなく服薬を再開しないでください。もし、主治医がザイアジェンの服薬再開を指示した場合、本当に必要なかどうかを必要に応じて第三者と一緒に医師に確認した場合にのみ服薬再開してください。

これらの症状のリストは、薬剤師から渡される警告カードに書いてあります。この警告カードは携帯してください。

ザイアジェンは他の重篤な副作用が出る可能性があります。「ザイアジェンで起こりうる副作用は何か？」の項をよく読んでください。

ザイアジェンとは？

ザイアジェンは HIV 感染症の治療に使われるお薬です。ザイアジェンには、内服できる錠剤とイチゴ-バナナフレーバーの内服液(国内未発売)があります。ザイアジェンは、核酸系逆転写酵素阻害剤に分類されます。ザイアジェンは、他の抗 HIV 薬と組み合わせて使用するときのみに、効果が認められています。これらの他のお薬と組み合わせて使用される場合、ザイアジェンはあなたの体内の HIV 量を低下させる働きをします。このことによりあなたのからだの免疫は可能な限り健康な状態に保たれ、感染症に抵抗します。

ザイアジェンは HIV 感染症もしくは AIDS を治癒させるものではありません。ザイアジェンは、余命を延ばしたり、HIV 感染症や AIDS に伴う合併症を減少させるかどうかについて、長期にわたる十分な研究がなされていません。従って、あなたは定期的に主治医を受診する必要があります。

ザイアジェンを飲んではいけない人は？

過去にアバカビル(ザイアジェン、トリジビル[アバカビル+ラミブジン+ジドブジン]錠:国内未発売)に対して、重篤なアレルギー反応(過敏反応)を発現したことがある場合には、ザイアジェンを服用しないでください。もしそのような症状を起こしたことがある場合には、服用していないザイアジェンはすべて医師か薬剤師に返却してください。

肝疾患がある場合には、ザイアジェンを服用すべきでない人もいますので、もし肝機能に異常がある場合には、主治医にそのことを話してください。

ザイアジェンはどのように飲むか？

最大の抗 HIV 効果を引き出すために、ザイアジェンは主治医に指示されたとおりに服用してください。飲み忘れはしないでください。

通常、成人(16歳以上)では、300mg 錠を 1 日 2 回服用します。食後でも空腹時でも服用できます。

3 カ月以上の小児でも、ザイアジェンを服用することができます。お子さんに内服液(国内未発売)がよいのか、錠剤がよいのかは、主治医からお話があるでしょう。また、体重と年齢から、適切な投与量を主治医が判断してくれるはずで、3 カ月未満の乳児に対するザイアジェンの研究はありません。

もしザイアジェンを飲み忘れてしまったら、気付いたときにただちに服用してください。そして、次の服用はいつもの決められた時間に行ってください。ザイアジェンは常に服薬しててください。抗 HIV 薬を中止したら、それがたとえ短い時間であっても、ウイルスはあなたの血中で増加してしまいます。そして、あなたの体内のウイル

スは、より治療しにくいものになってしまうでしょう。

ザイアジェンを飲んでいる間、どのようなことを避けたらよいか？

ザイアジェンを服用している間は、安全なセックスを心がけてください。汚染された針を使ったり、共有したりしないでください。ザイアジェンは、性行為や血液を介した HIV 感染のリスクを減らすわけではありません。

妊娠している、もしくはザイアジェンを服用中に妊娠した場合には、主治医に相談してください。妊婦に対するザイアジェンの研究はありません。ザイアジェンが胎児に害を及ぼすかどうかについては分かっていません。

HIV に感染している母親は、母乳を通じて乳児に HIV をうつす可能性があるため、授乳すべきではありません。またザイアジェンは母乳を通じて乳児が摂取し、副作用をおこす可能性があります。

ザイアジェンで起こりうる副作用は何か？

生命に危険が及ぶアレルギー反応：ザイアジェンは、死にいたることもある重篤なアレルギー反応（過敏反応）の原因になることがあります。この反応であることの判別法やその対応は、この服薬ガイドの冒頭にある「ザイアジェンについて知るべき最も重要な情報」の項に記載されています。

乳酸アシドーシスと重篤な肝障害：ザイアジェンは乳酸アシドーシスと呼ばれる重篤な症状を引き起こすことがあります。いくつかの例では、死に至ることも報告されています。改善しない悪心、疲労感などは、乳酸アシドーシスの可能性があります。この稀だが重篤な副作用を起こす可能性は、女性が男性より高くなっています。

ザイアジェンは、この他の副作用も起こす可能性があります。最も一般的なザイアジェンの副作用は、悪心、嘔吐、倦怠感もしくは疲労感、頭痛、下痢、食欲不振です。これらの副作用では、多くの場合、ザイアジェンの服用を中止する必要はありません。

抗 HIV 療法を受けている患者さんの中で、体脂肪が変化することがあります。上背部や首の脂肪量の増加（野牛肩）、胸や体幹の脂肪量の増加などが、この変化に含まれます。また、四肢や顔からの脂肪の減少も起こります。現在のところ、この変化の原因や長期間の健康状態に及ぼす影響については分かっていません。

服薬ガイドで説明している副作用が全てではありません。主治医や薬剤師から、ザイアジェンの副作用について、より詳しい説明を聞くことができます。

ザイアジェンのことについては何でも、医療関係者にお尋ねください。さらに詳しい情報を知りたい場合には、医師や薬剤師に医療関係者向けに書かれた添付文書について聞いてみてください。

ザイアジェンは処方されていないときには使用しないでください。ザイアジェンを他の人に渡さないでください。

患者さん向け情報

要指示医薬品

レイアタツツ
 (一般名=硫酸アタザナビル)
 カプセル



警告：レイアタツツと併用してはならない薬剤にはどのようなものがあるか、知っておくこと。

「レイアタツツと他の薬剤を併用する場合に知っておかなければならない重要なこととは？」の項をご覧ください。

レイアタツツの服用を開始する前に、添付の「患者さん向け情報」をお読みください。また、新しい情報が追加されている場合もありますので、調剤を受ける度に読み直してください。このパンフレットは、レイアタツツに関する情報を短くまとめたものであり、レイアタツツについて知っておかなくてはならない事柄がすべて記載されているわけではありません。また、このパンフレットを読んだからといって、病気の状態や治療について医療従事者に相談する必要がなくなるというものでもありません。

レイアタツツはどのような薬？

レイアタツツはヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染者の治療のため、他の HIV 治療薬と一緒に使用される処方箋薬です。HIV とは後天性免疫不全症候群 (AIDS) の原因となるウイルスです。レイアタツツはプロテアーゼ阻害薬と呼ばれる HIV 治療薬の一種です。HIV に感染すると免疫系にとって重要な CD4 (T) 細胞が破壊されます。免疫系というところは身体が感染症と戦うのを助ける働きをしています。この T 細胞が大量に破壊されると、AIDS を発症します。レイアタツツには HIV プロテアーゼ (ウイルスが増殖するのに必要な酵素) を阻害する働きがあります。レイアタツツは血液中のウイルス量を抑え、体内における CD4 (T) 細胞の供給を維持し、HIV に関連した病気や死亡の危険性を少なくすると考えられています。

レイアタツツを服用すると HIV や AIDS が治るのですか？

レイアタツツの服用によって HIV 感染や AIDS が完全に治るわけではありません。現時点では HIV 感染が治癒する治療法はありません。レイアタツツを服用していても、HIV 感染に伴って日和見感染や他の病気が起こる場合もあります。日和見感染とは、免疫系が弱くなったために起こる感染症です。肺炎やヘルペス、MAC (非定型抗酸菌) 症も日和見感染の一部です。レイアタツツを服用している間も定期的に診察を受けることがとても大切です。

レイアタツツを服用すれば、性行為、注射針の共用、血液への接触によって他の人に HIV がうつる可能性が低くなるというわけではありません。あなた自身と他の人々の健康のために、ラテックス製、ポリウレタン製のコンドーム、あるいは他の遮断法を用い、精液や膣からの分泌物、血液に触れる機会を少なくして、常に安全性の高い性行為をこころがけましょう。不潔な注射針を使ったり共用したりすることは絶対に避けてください。

レイアタッツを服用してはならない場合とは？

以下の場合にはレイアタッツを服用しないでください。

- 特定の薬剤を服用している場合。（「レイアタッツと他の薬剤を併用する場合に知っておかなければならない重要なこととは？」の項をご覧ください） 生命を脅かす重大な副作用が生じたり、死に至ることがあります。レイアタッツの服用を始める前には、現在服用している薬や今後服用する予定のある薬をすべて医療従事者に報告してください。これには、他の処方箋薬、大衆薬（一般用医薬品）、ビタミン剤、薬草サプリメントなどが含まれます。
- レイアタッツまたはレイアタッツに含まれるいずれかの成分に対してアレルギーがある場合。レイアタッツの有効成分は硫酸アタザナビルです。レイアタッツの成分一覧については、このパンフレットの最後の部分をご覧ください。これらの成分のいずれかに対して、これまでにアレルギー反応を起こしたことがあると思われる場合には、医療従事者にそのことを話してください。

レイアタッツの服用を始める前に医療従事者に伝えておくべきことは？

以下の場合には、医療従事者に報告してください。

- 現在妊娠している場合、または妊娠を希望している場合。レイアタッツが胎児に有害な影響を及ぼす可能性があるかどうかは不明です。ヌクレオシド類似化合物と呼ばれる他の HIV 治療薬とレイアタッツを併用した妊婦に、重大な副作用が現れたことが報告されています。レイアタッツがあなたに適しているかどうかについては、医療従事者と一緒に判断する必要があります。妊娠中にレイアタッツを使用する場合には、「抗レトロウイルス妊娠登録」について医療従事者に相談してください。
- 授乳中の場合。HIV 陽性の人は、赤ちゃんに HIV が感染する可能性がありますので、母乳による育児は避けてください。レイアタッツが母乳中に分泌される可能性があるかどうか、赤ちゃんに悪影響を及ぼす可能性があるかどうかについては不明です。赤ちゃんがいる女性、これから出産を予定している女性は、どのような形で授乳するのが一番よいか医療従事者と相談してください。
- 肝臓に問題がある場合、または B 型もしくは C 型肝炎ウイルスに感染している場合。「レイアタッツによる副作用として考えられるものは？」の項をご覧ください。
- 糖尿病がある場合。「レイアタッツによる副作用として考えられるものは？」の項をご覧ください。
- 血友病にかかっている場合。「レイアタッツによる副作用として考えられるものは？」の項をご覧ください。
- 処方箋薬、大衆薬（一般用医薬品）、ビタミン剤、薬草サプリメントなど、使用している薬剤がある場合はすべて報告してください。使用している薬剤のリストを携帯し、医療従事者に見せるようにしてください。詳しいことについては、「レイアタッツと他の薬剤を併用する場合に知っておかなければならない重要なこととは？」、「レイアタッツを服用してはならない場合とは？」の項をご覧ください。薬によっては、レイアタッツと併用すると重大な副作用を生じるおそれのあるものがあります。

レイアタツツの服用のしかたは？

- 毎日 1 回、医療従事者の指示をきちんと守って服用してください。あなたに合った量のレイアタツツが処方されています。用量は、肝臓の機能の状態と、併用している他の HIV 治療薬によって変わってきます。レイアタツツは必ず他の HIV 治療薬と一緒に使用します。レイアタツツと SUSTIVA® (エファビレンツ) を併用しているのであれば、NORVIR® (リトナビル) も処方されている場合があります。
- レイアタツツの効果が上がるように、必ず食べ物（食事または軽食）と一緒に服用してください。カプセルは開けずに、そのまま飲み込んで下さい。毎日決まった時間に服用するようにこころがけましょう。
- 制酸薬や Videx® (ジダノシン) 錠 (緩衝剤配合チュアブル・懸濁錠) を服用している場合には、これらの薬剤を服用する 2 時間前もしくは 1 時間後にレイアタツツを服用してください。
- 医療従事者に相談せずに用量を変更したり、服用を中止したりしないでください。服用中は、定期的に診察を受けることが重要です。
- 処方されたレイアタツツが残り少なくなってきたら、医療従事者または薬局から再び処方してもらってください。薬を切らさないことが大切です。ほんのわずかな間でも服薬を中断すると、血液中の HIV の量が増えることがあるからです。
- 飲み忘れてしまったときは、思い出した時点ですぐに服用し、次回の分は通常のスケジュール通りに服用してください。ただし、6 時間以内に次回の服用時間がくる場合には、飲み忘れた分を 1 回とばしてください。そして、決まった時間に次の分を服用してください。レイアタツツも他の HIV 治療薬も飲み忘れのないようにすることが大切です。
- 処方された用量よりも多く服用してしまった場合には、担当の医療従事者または中毒事故管理センターに直ちに連絡してください。

子供でもレイアタツツを服用することができますか？

レイアタツツに関して、16 歳以下の小児を対象とした詳しい研究は行われていません。生後 3 ヶ月以下の乳児に対する使用は勧められません。

レイアタツツによる副作用として考えられるものは？

以下に示す副作用はすべてを網羅しているわけではありません。新たな症状が現れたり、症状が持続したりする場合には、医療従事者に報告してください。副作用について疑問に思うことがある場合には、医療従事者に尋ねてください。副作用への対処のしかたの役に立つかもしれません。

レイアタツツを服用すると、次のような副作用が現れる可能性があります。

- 皮膚または眼の黄染。これは、血液中のビリルビンの量が増えることによるものと考えられます（ビリルビンは肝臓で作られます）。皮膚や白眼の部分が黄色くなることがあったら、医療従事者に相談してください。肝臓や皮膚、眼に悪影響が生じているわけではありませんが、早急に医療従事者に報告することが大切です。
- 心拍の変化（心臓の拍動リズムの変化）。めまいがしたり、頭がくらくらしたりする場合には、直ちに医療従事者に連絡してください。これらの症状は、心臓に問題が生じていることをあらわしている可能性があります。

- レイアタツツのようなプロテアーゼ阻害薬を服用している患者さんには、糖尿病および血糖値の上昇（高血糖症）が生じることがあります。プロテアーゼ阻害薬の服用以前から糖尿病であった場合とそうでない場合があります。患者さんによっては、糖尿病薬の変更が必要となる場合があります。
- B 型または C 型肝炎など肝臓に病気がある場合、レイアタツツのような HIV 治療薬を服用すると病気が悪化することがあります。
- 血友病の患者さんにレイアタツツのようなプロテアーゼ阻害薬を投与した結果、一部の患者さんで出血の問題が悪化したことが報告されています。
- 乳酸アシドーシス症候群と呼ばれる深刻な状態（血液中の酸が非常に多くなり、死に至ることもある状態）。ヌクレオシド類似化合物と呼ばれる HIV 治療薬とレイアタツツを併用した結果、一部の患者さんに乳酸アシドーシス症候群が生じたことが報告されています。頻度としては、女性や肥満（過度の太りすぎ）の患者さんに多く出現しています。乳酸アシドーシス症候群は医学的な緊急事態であり、入院加療が必要です。以下に示す乳酸アシドーシス症候群の徴候がひとつでもあらわれたら、直ちに医療従事者に連絡し、医療従事者から服薬の指示がない限り、レイアタツツも他の HIV 治療薬も中止してください。
 - 悪心や嘔吐、通常とは異なる、あるいは予期せぬ胃部不快感が続く
 - 脱力感と疲労が強く感じられる
 - 呼吸が困難な状態である
 - 特に腕や脚に脱力感がある
- 体脂肪の変化。こうした変化には、上背部や頸部（「野牛肩」）、胸部、胴回りの脂肪の増加が挙げられます。また、脚や腕、顔の脂肪が落ちてしまうこともあります。こうした体脂肪変化の原因や長期的な健康への影響は、今のところ不明です。

他に、レイアタツツと他の HIV 治療薬を併用している場合に多く見られる副作用として、悪心、頭痛、発疹、胃痛、嘔吐、下痢、抑うつ、発熱、咳の増加、めまい、睡眠障害、疼痛、疲労、背中痛み、手足のしびれ・ぴりぴり感・灼熱感、関節痛などが挙げられます。

レイアタツツと他の薬剤*を併用する場合に知っておかなければならない重要なこととは？

以下に示す薬剤を服用している場合には、レイアタツツを服用しないでください（すべての製品名を記載しているわけではありません。使用している薬剤があれば、すべて医療従事者に報告してください）。これらの薬剤とレイアタツツを併用すると、生命を脅かす重大な副作用が生じたり、死に至ることがあります。

- 麦角製剤：ジヒドロエルゴタミン、エルゴノビン、エルゴタミン、メチルエルゴメトリン（Cafergot[®]、Migranal[®]、D.H.E. 45[®]、ergotrate maleate、Methergine[®]など）（偏頭痛治療薬）
- Halcion[®]（トリアゾラム、不眠症治療薬）
- Versed[®]（ミダゾラム、鎮静薬）
- Orap[®]（ピモジド、トゥレット障害に用いる）
- Propulsid[®]（シサプリド、ある種の胃の障害に用いる）

以下の薬剤とレイアタツツの併用は避けてください。重大な副作用が生じる恐れがあります。

- Camptosar® (イリノテカン、癌の治療薬)
- Vascor® (ベプリジル、高血圧治療薬)
- Crixivan® (インジナビル、HIV 感染治療薬)。レイアタツも Crixivan も血中ビリルビン値の上昇を招くことがあります。
- コレステロール低下薬である Mevacor® (ロバスタチン) または Zocor® (シンバスタチン)

以下の薬剤とレイアタツの併用は避けてください。血液中のレイアタツの量を低下させ、ウイルス量の増大を招くことがあります。また、レイアタツに対する耐性や他の HIV 治療薬に対する交差耐性が生じることがあります。

- リファンピン (Rimactane®, Rifadin®, Rifater®, Rifamate®とも呼ばれる、結核の治療薬)
- セイヨウオトギリソウ [セント・ジョーンズ・ワート] (*Hypericum perforatum*)。食物性サプリメントとして売られている薬草製品、またはセイヨウオトギリソウを成分として含む製品。
- 「プロトンポンプ阻害薬」。消化不良や胸焼け、潰瘍の治療に用いられます。AcipHex® (ラベプラゾール)、Nexium® (エソメプラゾール)、Prevacid® (ランソプラゾール)、Prilosec® (オメプラゾール)、Protonix® (パントプラゾール) など。

以下の薬剤を使用する場合は、医療従事者による治療経過の詳細な観察が必要になることがあります。

- Viagra® (シルデナフィル)。レイアタツを服用すると、Viagra によって生じる可能性のある重大な副作用の発現頻度が高くなることがあります。レイアタツ服用中は、医療従事者の許可がないかぎり Viagra を使用しないでください。
- Lipitor® (アトルバスタチン)。このコレステロール低下薬とレイアタツを併用すると、重大な副作用の発現頻度が高くなります。
- 心調律異常の治療薬：Cordarone® (アミオダロン)、リドカイン、キノジン (Cardioquin®, Quinidex®などとも呼ばれます)
- Coumadin® (ワルファリン)。
- 三環系抗うつ薬。Elavil® (アミトリプチリン)、Norpramin® (デシプラミン)、Sinequan® (ドキシペピン)、Surmontil® (トリミプラミン)、Tofranil® (イミプラミン)、Vivactil® (プロトリプチリン) など。
- 臓器移植による拒絶反応を防ぐ薬剤：Sandimmune®または Neoral® (シクロスポリン)、Rapamune® (シロリムス：国内未発売)、または Prograf® (タクロリムス)。

以下の薬剤を使用する場合は、レイアタツとその薬剤のどちらかの用量または投与スケジュールを変更しなければならないことがあります。

- Sustiva® (エファビレンツ)
- Fortovase®, Invirase® (サキナビル)
- Norvir® (リトナビル)
- Mycobutin® (リファブチン)
- カルシウム拮抗薬。Cardizem®または Tiazac® (ジルチアゼム)、Covera-HS®または Isoptin SR® (ベラパミル) など。

- Biacin® (クラリスロマイシン)
- 経口避妊薬 (いわゆる「ピル」)
- Videx® (ジダノシン) または制酸薬
- 消化不良、胸焼け、潰瘍の薬。Axid® (ニザチジン)、Pepcid AC® (ファモチジン)、Tagamet® (シメチジン)、または Zantac® (ラニチジン)。

次の点に留意してください。

1. 自分が使用している薬剤をすべて把握していること。
2. 使用している薬剤はすべて医療従事者に報告すること。
3. 医療従事者に相談せずに新しい薬の服用を始めないこと。

レイアタツの保管のしかたは？

- レイアタツカプセル錠は 59~86° F (15~30°C) の室温で保管してください。洗面所の薬戸棚や台所の流しの近くなど、湿気の多い場所は避けてください。
- 密封容器に入れて保管してください。
- 期限切れや不要になったレイアタツは、トイレに流すか、水で洗い流して処分してください。

レイアタツに関する一般的な注意：

このお薬は、あなたの病状に合わせて処方したものです。他の病状にレイアタツを用いることはしないでください。また、あなたと同じ症状があるからといって、レイアタツを他の人にあげたりしないでください。有害なことがあります。レイアタツも含め、薬剤はすべて子供やペットが触れないような場所に保管してください。

このパンフレットにまとめた内容は、レイアタツについて知っておくべき事柄をすべて含んでいるわけではありません。薬は、患者さん向けの情報に記載されていない病状に対して処方されることもあります。文章にまとめたものを読んだからといって、医療従事者との綿密な話し合いの必要がなくなるというわけではありません。情報についてもっと詳しく知りたい場合は、医療従事者に相談するか、1-800-426-7644 までお電話ください。

レイアタツに含まれている成分は？

有効成分：硫酸アタザナビル

不活性成分：クロスポビドン、ラクトース一水和物（乳糖）、ステアリン酸マグネシウム、ゼラチン、FD&C Blue No. 2、二酸化チタン。

*Videx®は Bristol-Myers Squibb Company の登録商標です。Coumadin®および Sustiva®は Bristol-Myers Squibb Pharma Company の登録商標です。文中に記載した他の製品名は、それぞれの所有者の商標であり、Bristol-Myers Squibb Company の商標ではありません。

Bristol-Myers Squibb Virology
Bristol-Myers Squibb Company

Princeton, NJ 08543 USA

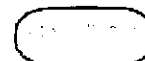
この患者さん向け情報は、米国食品医薬品局による承認済みです。

2003年6月発行

1168954

2003年8月付の添付文書に基づき作成。

Package Leaflet
コンビビル フィルムコート錠



このお薬の服用を開始する前に、このリーフレットの内容をよく読んでください。

- ◆ このリーフレットは保管しておきましょう。必要に応じて、読み返してください。
- ◆ さらに質問があるときには、医師もしくは薬剤師に相談してください。
- ◆ このお薬は、あなたに処方されたものです。他の人に渡さないようにしてください。病気の症状が仮にあなたと同じだとしても、お薬がその人に害を及ぼす可能性もあります。

このリーフレットでは、以下の内容を説明しています。

- ◆ コンビビルとは何か、どのような病気に使われるのか
- ◆ コンビビルを服薬する前に
- ◆ コンビビルの飲み方
- ◆ 想定される副作用
- ◆ コンビビルの保管方法
- ◆ その他の情報

コンビビル フィルムコート錠

ラムブジン/ジドブジン

コンビビルは、ふたつの活性成分(ラムブジンとジドブジン、いずれもそれぞれ単独でも使用されています)を含むお薬です。コンビビル フィルムコート錠 1錠あたり、150mgのラムブジンと300mgのジドブジンが含有されています。

フィルムコート錠は、以下の成分も含有しています。

錠本体:結晶セルロース, カルボキシメチルスターチナトリウム, ステアリン酸マグネシウム, 軽質無水ケイ酸

フィルムコート:ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2910, 酸化チタン, マクロゴール 400, ポリソルベート 80

製造者

Glaxo Wellcome Operations
Priory Street
Ware
Herts SG12 0DJ
United Kingdom

販売元

Glaxo Group Ltd
Green ford Road
Green ford
Middlesex UB6 ONN
United Kingdom

1. コンビビルとは何か、どのような病気に使われるのか

コンビビル フィルムコート錠は、10 錠の PTP シート(包装単位×10 シート)で供給されています。色は白色から微黄白色で、片側に GXFC3 の刻印が入ったカプセル形の錠剤です。

コンビビルは抗ウイルス剤として分類されており、核酸系逆転写酵素阻害剤と呼ばれている抗レトロウイルス剤として知られています。これらは、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症を治療するために用いられています。

コンビビルは、成人および 12 歳以上の青少年における HIV 感染症治療において、併用抗レトロウイルス療法薬として用いられます。コンビビルは、あなたの体内の HIV を減らし、ウイルス量を低いレベルに保ちます。また、CD4 細胞数も増やします。CD4 細胞とは、白血球の一種で、感染症に対抗するために必要な健康な免疫システムを維持するのに重要な役割を持っています。コンビビルは、病気が進行するリスクを減らします。コンビビルでの治療効果は、患者さんによっても差があります。あなたの主治医が、治療効果についてモニターしてくれるでしょう。

2. コンビビルを飲む前に

以下のような人は、コンビビルを飲んではいけません

- ◆ ラミブジンあるいはジドブジン、コンビビル錠の成分に過敏症(アレルギー)のある場合
 - ◆ 赤血球数が非常に低い(重度の貧血)、もしくは白血球数が非常に低い(好中球減少)場合
- もし分からなかったら、あなたの主治医に相談してください。

使用にあたっての警告と注意

- ◆ コンビビルは、内服液のような用量調節できる剤形がないため、12 歳未満の小児にはお勧めできません。
- ◆ 腎臓や肝臓に疾患がある場合には、コンビビルの使用量を調節する必要があるかもしれませんので、あなたの主治医に相談してください。
- ◆ あなたが HIV 感染症とは関係ないと思っても、すべての症状をあなたの主治医に話すことはとても重要です。主治医はそれを聞いて、コンビビルの代わりにラミブジンもしくはジドブジンを別々に処方する場合があります。
- ◆ 貧血(赤血球数が少ない)と好中球減少/白血球減少は、コンビビルの活性成分のひとつであるジドブジンの治療から 4~6 週間の間におこります。もし重篤だった場合には、コンビビルの投与を中止する場合があります。これらのことは、一般的には、進行した HIV 感染症の患者さんやコンビビルで服用するよりも高用量のジドブジンを服用している場合により起こりやすくなります。定期的な血液検査により、問題がないかどうかチェックします。このような副作用は、初期の HIV 感染症の患者さんでは稀なので、このような患者さんでは血液検査の頻度が少ないことがあります。
- ◆ コンビビルが分類される核酸系逆転写酵素阻害剤は、肝肥大とともに乳酸アシドーシスと呼ばれる状態の原因となることがあります。乳酸アシドーシスは、(起こるとすると)、治療の数ヵ月後に発現するのが普通です。深く速い呼吸、睡眠状態、そして吐き気、嘔吐や胃痛のような非特異的な症状は、乳酸アシドーシス発現の兆候かもしれません。この稀な、しかし重篤な副作用は女性、特に肥満の方により起こりやすい傾向があります。もし肝疾患がある場合には、この状態に陥るリスクがより高くなります。コンビビルで治療を

受けている間は、あなたの主治医はあなたが乳酸アシドーシスを発現する兆候がないかどうか念入りにモニターするでしょう。

- ◆ もしあなたがB型慢性肝炎の場合には、肝炎を再発するかもしれないので、医師の指示なく勝手に治療を中止してはいけません。あなたが重症の肝疾患を患っている場合には、この再発はより重篤になる可能性があります。
- ◆ コンビビルは毎日服薬する必要があります。このお薬は、あなたの症状をコントロールし、病気の進行を遅らせる助けとなりますが、HIV感染症を完治させることはできません。他の感染症やHIV感染症に関連した他の疾患を発症しつづける可能性もあります。あなたの主治医とは緊密に連絡をとり、相談なしにお薬の服用を中止してはいけません。
- ◆ コンビビルの治療をしても、性行為や血液を介して他の人にHIV感染症をうつしてしまうリスクが減るわけではありません。他人への HIV 感染を予防するために、適切な避妊具を使用しなければいけません。

妊娠

妊娠している場合、もしくは妊娠を予定している場合には、お薬の服用を始める前にあなたの主治医にそのことを相談してください。コンビビルは、胎児に対してリスクがある可能性があります。

授乳

もし授乳をしているのであれば、お薬の服用を始める前にあなたの主治医にそのことを話してください。授乳中の場合には、コンビビルはお勧めできません。HIV 感染症の女性では、HIV を感染させることを防ぐために、いかなる条件下であっても乳児に母乳を与えないことが勧められています。

他の薬を飲む場合

あなたが自分で購入したお薬も含めて、あなたが飲んでいるお薬すべてを主治医に報告することは大変重要です。これらのお薬がコンビビルの作用に影響を及ぼすかもしれませんし、逆にコンビビルがこれらのお薬の作用に影響を及ぼす可能性もあります。コンビビルは、ザルシタビン、高用量のコトリモキサゾール、ガンシクロビルもしくはホスカルネットの注射薬と一緒に服用すべきではありません。コンビビルの活性成分のひとつであるラミブジンとこれらの薬が相互作用を起こす可能性があるからです。またコンビビルのもうひとつの活性成分であるジドブジンが作用を減弱させてしまう可能性のあるお薬として、リバビリンやスタブジンとも一緒に服用すべきではありません。

ジドブジンは以下のお薬とも相互作用を起こし、何らかの副作用を悪化させる可能性もあります。

フェニトイン、プロベネシド、リファンピシン、アトバコン、バルプロ酸、メタドン、アセチルサリチル酸、コデイン、モルヒネ、インドメタシン、ケトプロフェン、ナプロキセン、オキサゼパム、ロラゼパム、シメチジン、クロフィブラート、ダブソン、イソプリノシン、ペンタミジン、ピリメタミン、コトリモキサゾール、アンフォテリシン、フルシトシン、ガンシクロビル、インターフェロン、ビンクリスチン、ビンブラスチン、ドキシソルビシン

3. コンビビルの飲み方

主治医に指示された通りにコンビビルを服用してください。もし分からないことがあったら、医師もしくは薬剤師

に確認してください。

成人および 12 歳以上の青少年におけるコンビビルの通常用量は、1 回 1 錠を 1 日 2 回です。12 時間毎に服用します。コンビビル錠を噛み砕くことなく、水か他の飲み物で飲みこんでください。服用にあたっては、食後、空腹時のどちらでも構いません。

もし主治医がコンビビルの服用量を減らそうとした場合、例えばあなたの腎機能が低下しているような場合には、あなたが服用する薬剤は、錠剤のほか内服液（国内未発売）もあるラミブジンとジドブジンがそれぞれ処方されるでしょう。

指示された用量以上のコンビビルを飲んでしまった場合

もし誤ってコンビビルを飲みすぎてしまっても、深刻な問題が発生する可能性は低いのですが、主治医もしくは薬剤師、もしくは最寄の病院の救急外来へ相談してください。

コンビビルを飲み忘れてしまった場合

もしコンビビルを飲み忘れてしまった場合には、気付いた時点ですぐに服用し、その後は通常通りに服薬してください。飲み忘れたからといって、一度に 2 回分の薬を飲んではいけません。

4. 想定される副作用

すべての薬がそうであるように、コンビビルも副作用が起こる可能性があります。HIV 感染症を治療しているときには、往々にして、望まざる影響がコンビビルによって起こったものか、一緒に服用している他の薬剤によるものなのか、もしくは HIV 感染症自体によるものなのか、判別することが不可能です。このことから、あなたの病状のいかなる変化でも主治医に報告することがとても重要となります。次の“想定される副作用”の一覧をみて、不安になる必要はありません。あなたにはそれらの副作用は発現しないかもしれないのです。

もっとも一般的に報告されている（100 人にひとり以上）副作用は、頭痛、吐き気、嘔吐、胃痛、下痢、発熱、発疹（紅斑、盛り上がるか痒い）、ある肝酵素の増加、関節痛、筋肉痛、他の筋肉障害、めまい、咳、鼻症状、疲労感、睡眠障害、脱毛、貧血（赤血球数減少）、好中球減少（白血球数減少）などです。赤血球の産生が減少すると、疲労感や息切れが発現しやすく、白血球数が減少すると感染症に罹りやすくなります。

あまり一般的でない（1000 人から 100 人にひとり）副作用は、鼓腸、息切れ、疼痛、血小板減少（血液凝固に重要である血液細胞）があります。もし血小板数が低い場合には、あざがでやすくなります。

稀な（10,000 人から 1,000 人にひとり）副作用として、口中の不均一な色の変化、胸やけ、胸痛（心筋症と呼ばれる心筋の疾患である可能性を示す）、筋組織の衰弱、肝肥大、脂肪肝、肝炎等の肝障害、腓炎、爪や皮膚の変色、多汗、風邪症状、眠気、頻尿、男性での女性化乳房、胸痛、悪寒、食欲減退、味覚変化、四肢痛、痙攣、集中力散漫、うつ、不安感、乳酸アシドーシスとして知られる乳酸値の増加、（使用にあたっての警告と注意の項を参照）があります。

報告されている副作用の多くは、ラミブジンとジドブジンが別々に処方されても発現しますが、単独で投与した場合に起こりやすいものもあります。あなたの主治医は、コンビビルの服用をやめ、ラミブジンとジドブジンを別々に服用するように指導することもあります。これは、副作用を管理するのに重要だと考えられる場合に、活性成分のうちのひとつを投与中止したり投与量を変更したりする場合に行われます。

コンビビル服用中に起こった副作用についてはすべて、たとえこのリーフレットに記載がなくても、常に医師や薬剤師に報告してください。

5. コンビビルの保管

30°Cを超える場所には保存しないでください。

包装上面に記載してある使用期限後には使用しないでください。

子供の手の届かないところ、目の届かないところに保管してください。

6. その他

このお薬に関する情報については、それぞれの国の販売元にお尋ねください。

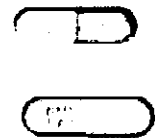
患者さん向け情報

要指示医薬品

ゼリット® (一般名=スタブジンまたは d4T)

ゼリット® (スタブジン) カプセル

ゼリット® (スタブジン) 内服液



ゼリットはどのような薬?

ゼリット (ゼリットと読みます) は HIV (ヒト免疫不全ウイルス) に感染した成人や小児の治療のため、他の薬剤と一緒に使用される処方箋薬です。HIV とは AIDS の原因となるウイルスです。ゼリットは、ヌクレオシド類似化合物と呼ばれる薬剤の一種です。HIV の増殖を抑えることで、体内における CD4 細胞 (HIV、その他の感染症と戦うのに重要な働きをする細胞) の供給を維持する働きをします。

ゼリットを服用しても、HIV 感染が治癒するわけではありません。現時点では、HIV 感染を治癒する治療法はありません。ゼリットを服用していても、他の病原菌による感染症など、HIV に関係した病気が持続する場合があります。定期的に医師の診察を受け、少しでも医学的な問題が生じたときには報告するようにしてください。

ゼリットは HIV に感染した患者さんのウイルスが他の人にうつるのを防ぐ薬ではありません。他の人々への感染を防ぐためには、常に安全な性行為をこころがけ、他の人々があなたの血液や体液に触れないように注意する必要があります。

ゼリットを長期間にわたって用いた場合の効果については、まだ詳しいことはわかっていません。